



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆実家のぶどう畑、父親にはこれからも…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、今年の夏もまたとても暑い日が続きました。私は夏休みの時期になると思い出すことがあります。子供の頃に手伝っていたぶどう畑のことです。私の実家は岡山でぶどうを作っています。主にピオーネを作り、北海道を中心に出荷しています。昔は祖母やお袋も、空いた時間にいっしょにやっていたのですが、今は二人とも亡くなってしまったので、父親が一人でやっています。

私は小さい頃、夏休みはぶどうの出荷の手伝いをずっとしていました。友達がみんな夏休みを満喫している中、ひとり出荷の手伝い。あまりいい思い出は残っていません。畑から収穫されてきた大量のぶどうは、家に隣接する納屋にいったん山積みされ、その臭いが…。少量のぶどうは、とっても良い匂いがします。ただ、それが山積みともなると、もう嫌になるほどです…。

手伝いは朝から晩まで。小学生なのでできることも少ないのですが、収穫されてカゴに入っているものを、まず乾かし、大きくなっていない実を、先のとがったハサミで切り取り、形を整えます。そして、箱詰めをして紐で縛って出荷。

一日中手伝い、大変でしたが、ひと夏で、労働の対価としてもらったお小遣いが、3万円から4万円。小学生にとっては大きなお金で、さっそくそれを使おうと思った時には、もう夏休みは終わっていて…。そんな子供時代を送っていたので、今でもあまりぶどうが好きになれません。

ちなみに、実家のぶどう畑は、現在、父親が一人でやっているのですが、もう来年には90歳になります。先日、田舎に帰ったとき、話を聞いてみると、もうぶどう作りをやめたいと言っていました。



出荷はこの時期ですが、実は一年中、手間暇(2枚目へ→)

(続き→) 掛けて世話をしないといけないのがぶどうです。まず、ぶどうは木が命。きちんと手入れをしないと、腐ってしまうほど繊細です。消毒をしたり、水分を補給してやったり、なんだかんだやる必要があります。また、実がなりはじめると、野鳥や虫が来て、ちょっとでも傷がつけば、もう売り物になりません。なので、本当に一年中神経を使います。また、体力的にもきつくなり、それに加え、最近では鳥獣の被害が大きく、ここ1、2年は、イノシシによる被害が甚大です。今年、田舎に帰ったときは、なんと3分の2もイノシシにやられていました。一年中、手間暇掛けて大切に育てたぶどうが、イノシシによって一瞬でダメにされてしまい、やめたいと言うのです。

たしかに、やめたくなる気持ちはわかります。ただ、健康面を考えますと、父には続けてもらいたいと思っています。ぶどうがなる1.5mの高さというのは、お年寄りの背骨がちょうどまっすぐ伸びる高さです。米作りと違って腰が曲がりません。また、足腰も強くなります。私の死んだおばあさんは、90歳を過ぎても恐ろしいくらい走っていました。それくらい足腰が頑丈になるので、健康のためにも、出荷しなくて



も親戚に配れる分くらいは、続けてほしいなと思っています。

本人はもうやめると言っていますが、つい先日、畑のために軽トラを新車にしたばかりなので、しばらくは続けてくれると思っています。

◆発行者コラム◆

ぶどうがイノシシにやられていると聞いて疑問が残りました。ぶどうがなるのは、約1.5mの高さのところ。イノシシは木によじ登っているのか？さすがにそれは無理では？といろいろ思いながら、ネットで「イノシシ ぶどう畑」と検索すると、動画が出てきました。そして、驚きました。なんと、イノシシが熊のように後ろ足2本だけで直立し、上を向いて食べていたのです。イノシシまで足腰が強くなるとは…。冗談はさておき、イノシシによる被害が甚大で、とても困っております。大森

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

株式会社
神奈中情報システム



大森



米山